



茨城県における ロボットイノベーション戦略の取組み

～「ロボット利用先進県いばらき」を目指して～

茨城県企画部科学技術振興課

1. ロボットイノベーション戦略の策定(平成27年度)

【推進期間:平成28年度～32年度】

- 茨城県の資源を活かし,本県独自のロボットイノベーション戦略を策定
- 研究開発,実証試験,実用化・製品化,導入を推進し,ロボット産業を育成・振興
- ロボットが社会に受け入れられる機運の醸成

県民の安全と豊かさを実現する「ロボット利用先進県いばらき」

【戦略1】社会が抱える課題をロボット技術の利活用により解決するシステムづくり

- ・ロボット技術利用研究会の設置,運営
- ・いばらきロボット実証試験・実用化支援事業

【戦略2】社会ニーズに基づき研究開発から社会実装まで総合的に実施するロボット産業拠点づくり

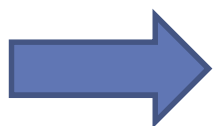
【戦略3】ロボット技術により安全で快適な暮らしを実現するまちのモデルづくり



2. いばらきロボット実証試験・実用化支援事業(H28～) (H27は「いばらき近未来技術実証推進事業」として実施)

(1) 事業開始の背景

- ロボットの実用化, 製品化には実証が不可欠
 - ・ 製品の安全性, 信頼性のテスト
 - ・ 課題の抽出, 改良の検証 等
- しかしロボットが使用される現場に近い実証フィールドを, 企業が自ら見つけることは難しい…



県が間に入って実証フィールドを紹介!

(2) 事業内容

対象 : 研究開発中のロボット及びロボットに関連する
技術・製品, ロボットを使用したサービス事業の実証

実施場所 : 原則として茨城県内

支援内容

- 実証試験場所の提供, 紹介
- モニターの調整
- 補助金の交付 (実証試験費: 上限200万円, 改良費: 上限1,000万円)
- 実証試験実施告知, 参加事業者のPR
- 安全対策 (保険加入紹介, アドバイザーによる安全指導)



4. 茨城県内の自動走行実証試験の取組み (日立オートモティブシステムズ(株))

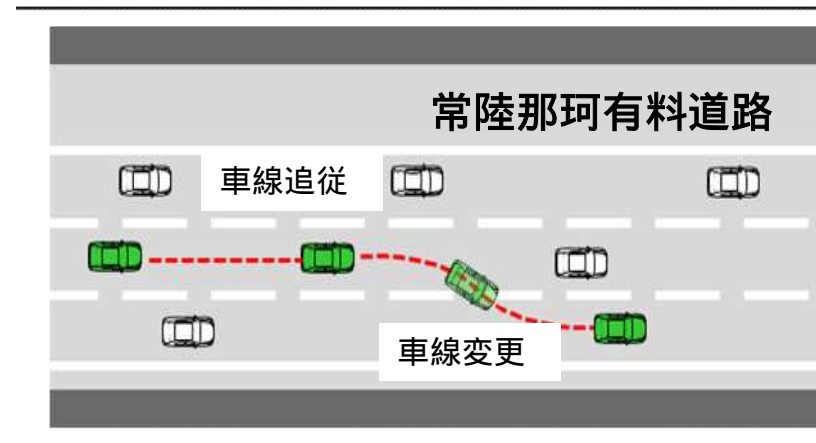
【平成27年度】

車線追従, 車線変更を自動で行う自動走行
システムの自動車専用道路における実証実験

実証時期: 平成27年12月 ~ 平成28年3月

実証場所: 常陸那珂有料道路

ひたちなかIC ~ ひたち海浜公園IC



【平成28年度】

自動走行車両に必要なセンサの認識精度・
範囲を確認するためのデータ収集

実証時期: 平成28年11月 ~ 平成29年3月

実証場所: 自動車安全運転センター

安全運転中央研修所(ひたちなか市)

模擬市街路, 高速周回路



安全運転中央研修所模擬市街路での実証試験の様子



ユニバーサル未来社会に向けた つくば市の取組

平成29年3月21日

つくば市

ロボットに関する取組等

JUIDA・GOKO
つくば試験飛行場

全国初

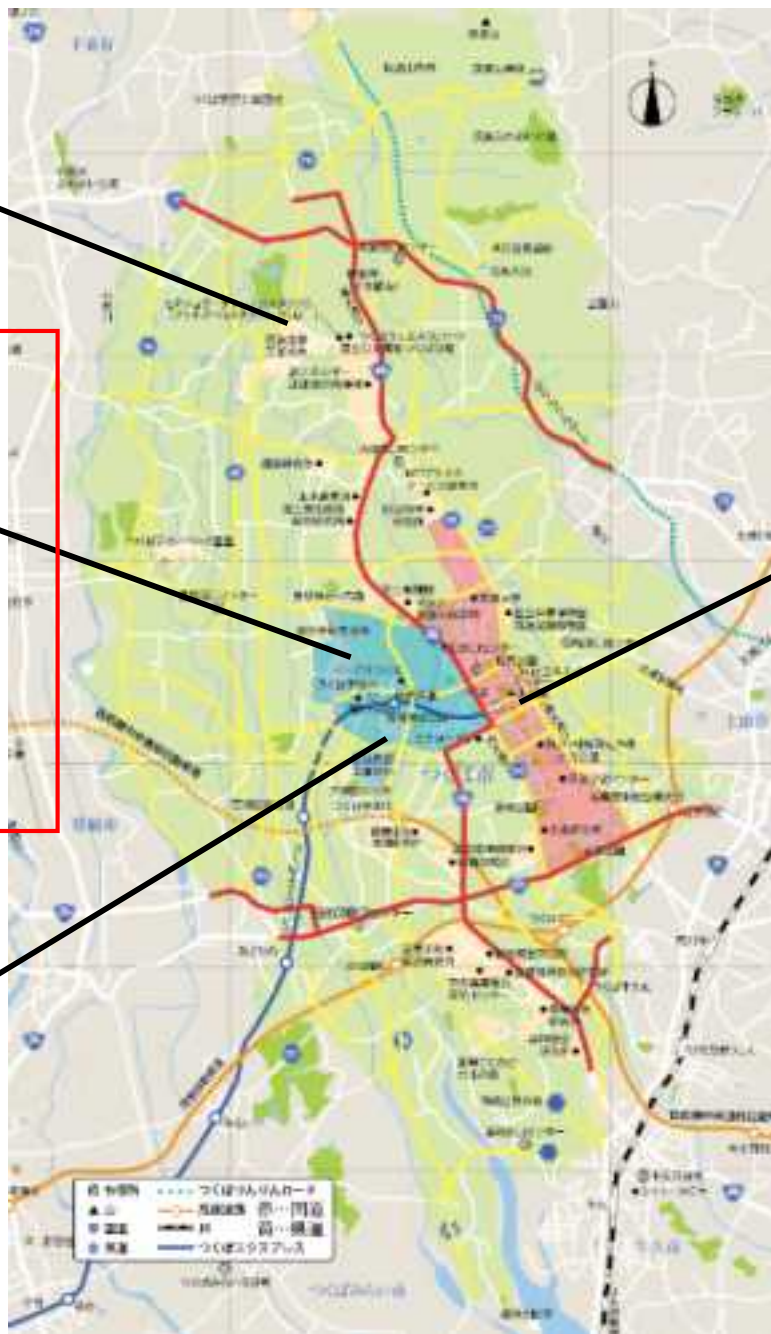
搭乗型移動支援ロボットの
実証実験

全国初 → 全国展開



生活支援ロボット
安全検証センター

国内唯一



国際戦略総合特区

(生活支援ロボットの
実用化プロジェクト等)

(市内全域)

自律移動ロボットの
技術チャレンジ
「つくばチャレンジ」



生活支援ロボットの
導入促進

(市内の介護施設、物流施設)

その他、様々なロボットの
実証実験等の相談にも対応

搭乗型移動支援ロボットの取組

平成23年から構造改革特区を利用して搭乗型移動支援ロボットの公道実験を開始。

搭乗型移動支援ロボットの安全性等の評価を目的に公道実証を行うほか、観光ツアーや高齢者等の移動支援などの社会実証を実施して社会的有効性の検証を行ってきた。

つくば市等の取組成果が認められ、平成27年7月、一定の条件を満たした全国の地域において、公道走行が行える「全国展開」が行われた。



フェーズ2

社会システムとしての実証

- ・ツーリズム
- ・タウンセキュリティ
- ・タウンモビリティ 等



フェーズ3

社会実装、事業化

- ・環境の整備
- ・一般利用者による利活用
- ・民間企業による事業運営 等

ロボットが日常的に活用されるまち



市民生活向上

- 行政サービスの向上
- 民間サービスの向上
- 行政上の課題解決等

経済活性化

- スタートアップ創出
- 企業による商品化等

先進的な挑戦ができるまち

製品・サービス

Society5.0
社会実証支援事業

負担金

実証場所

AI, IoT, ビッグデータ等の先進的な挑戦を支援

技術・アイデア



ユニバーサル未来社会

